

吸出し、洗掘、不等沈下防止材・土木用シート

キュアマット®

豊富な品種の
土木用
繊維シート!

キュアマットは主原料に天然ヤシ繊維を用いた「Cタイプ」、合成繊維を用いた「CCタイプ」、リサイクル材料を100%使用している「INTタイプ」、ポリエステル長繊維から成る「ADタイプ」の4種類があり、土木用シートとして多くの使用実績があります。



▲造成工事にキュアマットCCを使用

用途

- 軟弱地盤干拓、埋め立て改良(造成工事)
- 法面の洗掘防止、吸出し防止保護(砂防工事)
- トンネル裏面排水処理(道路、鉄道トンネル工事)
- 地盤の安定、排水処理(盛土工事)
- 堤防、護岸の砂防、排水処理(河川工事)

※施工時の重ね幅は概ね10~20cmとします。引張力が作用する場合は番線で固定します。

品 種

Cタイプ(天然ヤシ繊維)



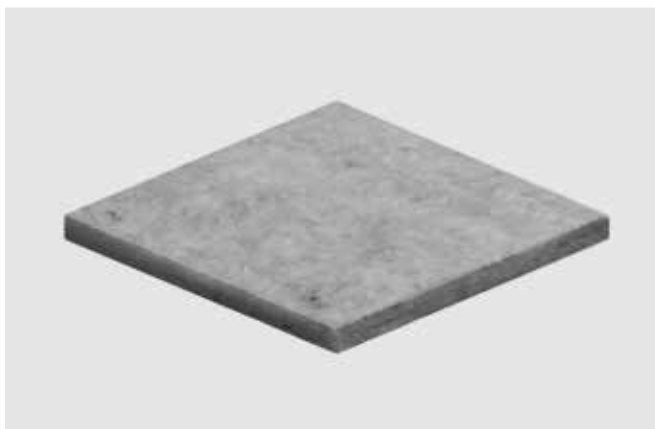
 **透水性良好**

 **他の処理材よりも経済的**

 **軽量・フレキシブルで作業性良好**

耐水性、耐腐蝕性に優れた天然ヤシ繊維を成形加工した般用タイプの土木工事用排水処理資材です。

CCタイプ(短繊維合成不織布)



 **透水性良好**

特殊加工により適度な空隙性を有した合成繊維シートです。

 **耐水性、耐薬品性良好**

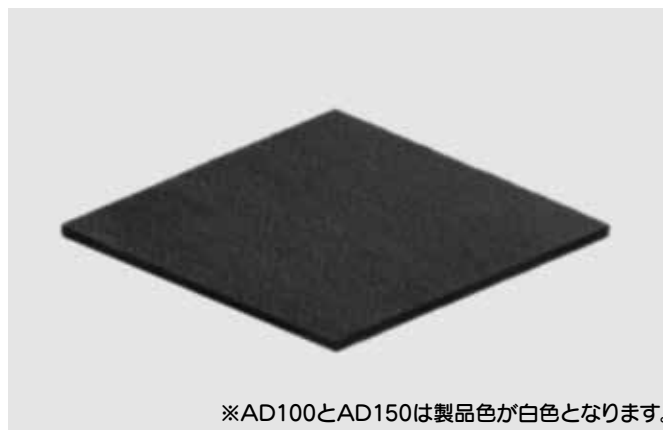
耐水性、耐薬品性に優れた合成繊維を使用しています。

 **長期的に効果を発揮**

土圧による目詰まりが少なく、長期に渡り透水効果を発揮します。

 **軽量のため作業性良好**

ADタイプ(ポリエステル長繊維不織布)



※AD100とAD150は製品色が白色となります。

 **透水性良好**

 **強度が大きい**

太デニールを使用していますので、縦・横・斜めの各方向の強度差も少なく安定しています。

 **土中での長期安定性**

耐水性、耐油性、耐候性、耐腐蝕性、耐薬品性、耐熱性等に優れています。

ポリエステル長繊維(スパンボンド)の土木工事用シートです。

INT-10タイプ(不織布)

(土研セ試験報告 第1114号)



 **引張強度が1トン/m以上**

1トン荷重に耐えられる強度、耐久性に優れた反毛フェルトの不織布です。

 **リサイクル材100%使用**

ペットボトル30%、ポリエステル繊維残糸70%を原材料として製造しておりますので、地球環境に優しい製品です。

 **耐圧性能、耐薬品性良好**

 **透水性良好**

河川、護岸用吸出し防止材として優れた特性を発揮します。

東レインターナショナル株式会社製を取り扱っています。

タイプ	品番	厚み (mm)	幅 (m)	長さ (m)
C	C-3	3	1または2	20
	C-10	10	1または2	10
	C-20	20	1または2	10
	C-30	30	1または2	5
	C-50	50	1	5
CC	CC-10	10	1または2	10
	CC-20	20	1または2	10
INT	INT-10	10	2	10

タイプ	品番	厚み (mm)	幅 (m)	長さ (m)	重さ (g/m ²)
AD	AD100	1.0	1または2	100	100
	AD150	1.5	1または2	100	160
	AD200	2.1	1または2	100	200
	AD300	3.0	1または2	100	300
	AD400	4.0	1または2	50	420
	AD500	5.0	2または4	50	500



▲植生用にキュアマットCを使用



▲根固めブロックの固定にキュアマットINT-10を使用

一般物性

Cタイプ

品番	引張強度 (N/5cm)		伸び率 (%)	
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ
C-3	20.6以上	20.6以上	5~45	5~45
C-10	68.6以上	68.6以上	5~45	5~45
C-20	137以上	137以上	10~45	10~45
C-30	206以上	206以上	10~45	10~45
C-50	343以上	343以上	10~45	10~45

CCタイプ

品番	引張強度 (N/5cm)		伸び率 (%)		透水係数 (cm/sec)
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
CC-10	150以上	150以上	30以上	30以上	0.01以上
CC-20	300以上	300以上	30以上	30以上	0.01以上

ADタイプ

品番	引張強度 (N/5cm)		伸び率 (%)		※ 透水係数 (cm/sec)
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
AD100	245以上	177以上	55以上	50以上	0.25
AD150	343以上	343以上	55以上	50以上	0.30
AD200	441以上	392以上	55以上	50以上	0.30
AD300	785以上	637以上	55以上	50以上	0.35
AD400	1,000以上	1,000以上	60以上	60以上	0.35
AD500	1,765以上	1,177以上	60以上	60以上	0.30

※透水係数は参考値

INT-10タイプ

項目	単位	品質基準	試験方法
密度	g/cm ³	0.12以上	JIS L 3204
圧縮率	%	12以下	JIS L 3204
引張強度	kN/m	10以上	JIS L 3204
伸び率	%	50以上	JIS L 3204
耐薬品性	%	90以上	JIS L 3204
透水係数	cm/sec	0.01以上	JIS L 3204
化学的安定性 (強度保持率)	%	70以上130以下	JIS K 7114
耐候性 (強度保持率)	%	70以上130以下	JIS A 1415

C・CCタイプの圧縮と密度の関係

圧縮強度 (N/mm ²)	密度(g/cm ³)						
	C-3	C-10	C-20	C-30	C-50	CC-10	CC-20
0.01	0.105	0.089	0.106	0.106	0.106	0.105	0.103
0.10	0.184	0.141	0.177	0.176	0.176	0.261	0.258
0.50	0.375	0.225	0.264	0.268	0.262	0.610	0.591
1.00	—	0.283	0.318	0.325	0.328	—	—
2.00	—	0.367	0.402	0.400	0.391	—	—
3.00	—	0.447	0.473	0.454	0.444	—	—

C・CCタイプの密度と透水係数の関係

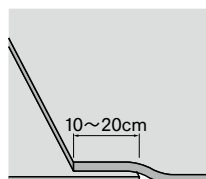
密度(g/cm ³)	透水係数(cm/s)
0.145	0.870
0.146	0.850
0.147	0.743
0.183	0.392
0.251	0.094
0.257	0.066

※試験方法:JIS A 1218

ADタイプの連結方法

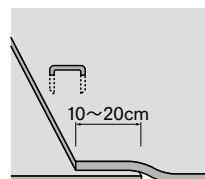
●現場加工

a.引張力が作用しない場合



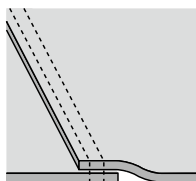
10~20cmを重ねてジョイント。

b.引張力が作用する場合

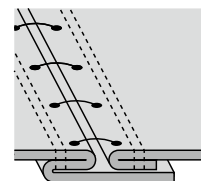
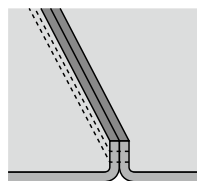


番線を切りU字型に曲げて仮止めピンとします。

●縫製加工 縫製、ハト目加工、ロープ質は別途必要です。



重ね縫い、おがみ縫いの2種類があります。



工場でハト目加工し、現場でロープ結束します。



▲配水管回りにキュアマットCCタイプを使用

注意事項



- (1) キュアマットは可燃性ですので、火気の近くでの使用には、十分注意して下さい。
- (2) キュアマットを保管する場合は屋内もしくは雨や日光が直接当たらないようにシートを掛けて下さい。

荷姿

品番	幅(m)	長さ(m)	外径(mm)	重量(kg/巻)
C-10	1または2	10	370	※6.5(13)
C-20			550	※11(22)
CC-10	1または2	10	340	※6(12)
CC-20			500	※12(24)
AD-100	1または2	100	400	※10(20)
AD-200		100	370	※20(40)
INT-10	2	10	280	24

※()内は2m幅製品の重量

アオイ化学工業株式会社

本社/〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)
 http://www.aoi-chemical.co.jp FAX(082)879-7260

東北支店/TEL(022)384-3171(代) 広島工場/TEL(0826)46-3511(代)
 FAX(022)382-1260 FAX(0826)46-2843

関東支店/TEL(03)3993-9311(代) 埼玉工場/TEL(048)584-2511(代)
 FAX(03)3993-9315 FAX(048)584-2510

北陸支店/TEL(025)280-0131(代) 北京支社/TEL +86(10)-65584184
 FAX(025)281-8338 アオイテクノサービス(株)/TEL(082)877-0017(代)

中部支店/TEL(052)332-5611(代) アオイコーポレーション(株)/TEL(082)877-7336(代)
 FAX(052)332-5615 アオイドリーム(株)/TEL(082)831-1345(代)

近畿支店/TEL(06)6631-2060(代) 台湾/奥徳化学建材股份有限公司
 FAX(06)6631-2170 シンガポール/AOI KAGAKU(SINGAPORE)
 PTE.LTD.

中四国支店/TEL(082)877-7171(代) TEL(65)6659-1137(代)
 FAX(082)877-5280

九州支店/TEL(092)623-5556(代)
 FAX(092)623-5559

北海道営業所/TEL(011)598-1151(代)
 FAX(011)598-1553